

# 救急車の適正利用に

## ご協力をお願いします

昨年、当消防本部の救急車で搬送された人の約26%が入院の必要のない「軽症」の方でした。

救急車の安易な利用が増えると「救える命」が救えなくなってしまうです。

生命の危険があり、緊急に救急車を必要としている人の元に一秒でも早く救急車が到着できるように、緊急性のない場合やタクシー代

わりに救急車を呼ぶことはやめてください。

また、「救える命」を救うため、救急車を正しく利用することは大切です。救急車の利用を控えるあまりに、取り返しのつかないことになっては本末転倒です。特に次の症状が出た場合はすぐに119番通報をし、救急車を呼んでください。詳しくは政府広報オンラインをご覧ください。

**重大な病気やけがの可能性あります！**

**顔**

- 顔半分が動きにくい、または、しびれる
- ニッコリ笑うと口や顔の片方がゆがむ
- ろれつがまわりにくく、うまく話せない
- 見える範囲が狭くなる
- 突然、周りが二重に見える
- 顔色が明らかに悪い

**おとな**

- 突然の激しい頭痛
- 突然の高熱
- 支えなしで立てないくらい急にふらつく

**胸や背中**

- 突然の激痛
- 急な息切れ、呼吸困難
- 胸の中央が締め付けられるような、または圧迫されるような痛みが2〜3分続く
- 痛み場所が移動する

**おなか**

- 突然の激しい腹痛
- 激しい腹痛が持続する
- 血を吐く
- 便に血が混ざるまたは、真っ黒い便が出る

**手・足**

- 突然のしびれ
- 突然、片方の腕や足に力が入らなくなる

**意識障害**

- 意識がない（返事がない）またはおかしい（もうろうとしている）
- くったりしている

**吐き気**

- 冷や汗を伴うような強い吐き気

**飲み込み**

- 物をのどにつまらせて、呼吸が苦しい、意識がない

**けいれん**

- けいれんが止まらない
- けいれんが止まっても、意識がもどらない

**けが・やけど**

- 大量の出血を伴うけが
- 広範囲のやけど

**事故**

- 交通事故にあった（強い衝撃を受けた）
- 水におぼれている
- 高いところから落ちた

◎ その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合

政府広報オンライン  
<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201609/1.html>

### 119番通報してから

## 救急車が来るまでに！

昨年、当消防本部の救急隊が傷病者の元へ駆けつけるまでにかかった時間は、平均で11分です。

救急車が来るまでの間に右記のことを準備しておく、医療機関への搬送がスムーズになり、傷病者への負担も少なくなります。

駆けつけた救急隊員が、できる限り早く安全に医療機関へ傷病者を搬送できるようご協力をお願いします。



### ○ 用意しておく便利なもの

救急車が来るまでに、用意しておく便利なもの。

- 保険証や診察券
- お金
- 靴
- 普段飲んでいる薬（おくすり手帳）

乳幼児の場合はさらに

- 母子健康手帳
- 紙おむつ
- ほ乳瓶
- タオル

### ○ 救急隊員に伝える内容

救急車が来たら、こんなことを伝えて下さい。

- 事故の状況や体調が悪くなってから救急隊が到着するまでの様子やその変化
- おこなった応急手当の内容
- 具合の悪い方の情報  
 持病、かかりつけの病院やクリニック、普段飲んでいる薬、医師の指示など
- 持病、かかりつけの病院やクリニックなどは、日頃からメモにまとめておくとう便利です。